

8月21日(日)

防災訓練を実施します

市と関係機関が密接に協力し、災害時に適切に対応するため、第30回鶴ヶ島市防災訓練を実施します。災害による被害から命を守るために、訓練を通じて災害時の行動を確認しましょう。

問合せ 安心安全推進課防災担当



日時 8月21日(日)8時30分～11時30分(小雨決行)

場所 藤小学校および若葉駅など

訓練内容 メインの会場である藤小学校では、煙中通過訓練、炊出し訓練、AED応急処置訓練、坂戸・鶴ヶ島消防組合による救出訓練、鶴ヶ島市消防団による建物消火訓練や訓練用の緊急地震速報の放送などを行います。また、若葉駅および若葉駅前出張所では、帰宅困難者避難訓練を行います。

訓練用放送 当日8時30分頃より、防災行政無線・防災ラジオで訓練用の地震発生放送や避難指示の放送などを流します。

また、訓練用の緊急速報メール(エリアメール)をスマートフォンや携帯電話へ配信します。実際の災害と間違えないようにしてください。

災害時の情報収集のためにハッシュタグを定めました

市では、災害時の情報収集手段の一つとして、ツイッターなどのハッシュタグ「#鶴ヶ島市災害」を定めました。

大規模災害時に、道路冠水や倒木など、市内の被害状況をツイッターなどに投稿する時は、文中に「#鶴ヶ島市災害」を入れて投稿してください(半角入力、前後にスペースを入れてください)。

ツイッターなどで「#鶴ヶ島市災害」と検索すると「#鶴ヶ島市災害」を含む投稿をまとめて見ることができます。

ツイッターを用いた情報収集訓練を行います

防災訓練の開催時間にあわせ、ツイッターによる情報収集訓練を行います。ツイッターのアカウントをお持ちの方は、市内各所でつぶやいてみましょう。

つぶやき例「中央図書館被害ありません。#鶴ヶ島市災害」
参加対象者

1 訓練当日(8月21日)の開催時間に、市内にいる方(在住者以外で当日市内にいる方も含む)。
2 次の3つのルールに同意していただける方。

3つのルール

- ① 画像などの投稿は、プライバシーや個人情報の保護などに十分配慮する。
- ② 位置情報を付けて配信すると自宅などの場所が知られる場合があるので、現在位置を知れることが不都合な場所で配信するときは、必ず位置情報の設定をオフにする。

※その他、注意事項などについては、市ホームページをご覧ください。

(<https://www.city.tsunugashima.lg.jp/page/page003894.html>)

③ スマートフォンなどの操作は、交通安全を心がけ、周囲の迷惑にならないようにする。

防災訓練にあわせて点検を

家の中を点検する

転倒した家具が体の上に倒れてきたり、通路をふさいだりすると、避難が遅れる原因になります。通路には家具を置かないようにし、大きな家具などは固定するようにしましょう。

ローリング備蓄を始める

食料は発災後3日間は自活できるように備蓄をしましょう。日ごろからできる方法として、「ローリング備蓄」があります。食料や飲料などの非常食を多めに備蓄し、普段から非常食を食べつつ、なくなったら、新しいものを買い足すものです。

避難ルートを確認しておく

災害時の避難経路、連絡手段をあらかじめ家族や友人などと確認しておきましょう。市内の小中学校、市民センター、公園など最寄りの避難場所への安全な道順を把握しておきましょう。災害時の情報伝達手段については、電話やメールなど、複数確保しておくことが有効です。

ご家庭でも確認を

地震のときは

大きな地震が発生した時、一瞬の判断が生死を分けることがあります。パニックを起こさず落ち着いて対応するため、普段から地震発生時取るべき行動を覚えておきましょう。

地震が起きたら何をする？

地震発生

- 自分の身を守る
- ドアを開け、逃げ道を確保する

1~2分

- 火元を確認
→火が出ていたら初期消火
- 家族の安全を確認
- 靴を履く
(ガラスの破片から足を守る)
- 非常持出品を用意する

3分

- 隣近所の安否を確認
(声をかけ、助け合う)
- 余震に注意する

5~10分

- ラジオなどで正しい情報を得る
- 家屋倒壊の恐れがあれば避難する
→避難時は、落下物やブロック塀、自動販売機などに注意する
- 家を出る前に、ガスの元栓を締め、電気のブレーカーを落とす

気象災害のときは

台風や大雨などの気象災害は、ある程度予測することが可能です。必要なときは、テレビやラジオ、インターネットなどで最新の情報を収集するようにしましょう。

◆台風のとき

- 鉢植えや物干し竿などは、強風で飛ばされないようなところに移動しましょう。
- 道路冠水や浸水の被害を防ぐため、雨水ますの周りに落ち葉などがたまっていたら、清掃にご協力をお願いします。

◆大雨のとき

- 家具や貴重品などを2階などの高い場所に移動させましょう。
- 河川や下水路などには、近づかないようにしましょう。



災害用伝言ダイヤル

災害が発生した際、まず自分の命を守ることが重要となりますが、自分の身の安全の確保をした後、次に気になるのが大切な人の安否です。

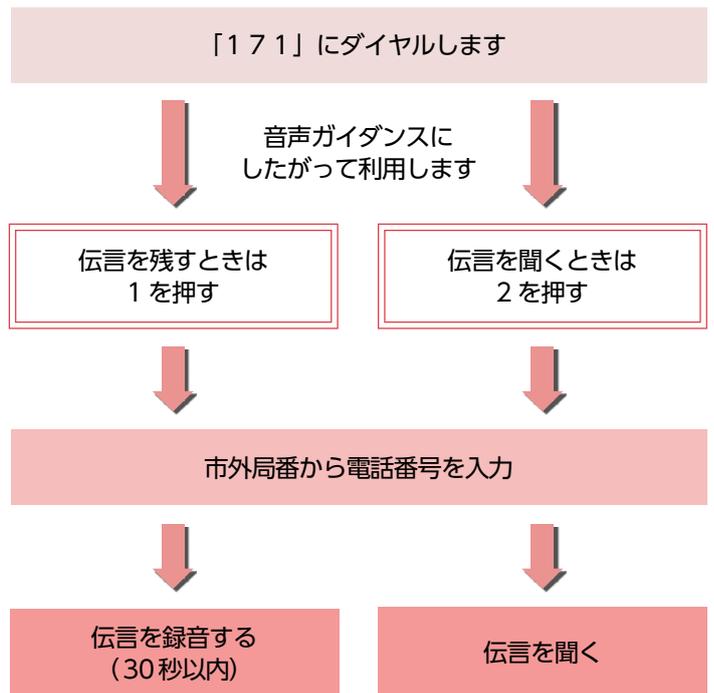
災害時は、電話やインターネットがつながらにくくなります。そうした状況下で被災者の安否を確認する手段の一つとして、災害用伝言ダイヤルがあります。これは、自宅の電話番号などをキーに、伝言の録音や再生という形での通信を可能にするものです。

自宅や職場の固定電話、携帯電話、公衆電話などから録音・再生ができ、被災者の方が録音した安否情報などを、全国に設置された「災害用伝言ダイヤルセンター」を通じて確認することができます。

ホームページ：<https://www.nt-east.co.jp/saigai/voice171/>

災害用伝言ダイヤル(171)の体験ができます

災害用伝言ダイヤルは、災害時以外でも体験できる期間があります。今回の防災訓練でもブースを設けますので、災害に備えて事前に体験してみませんか。



【市では、ツイッター、フェイスブックなどで災害情報の発信に努めています。災害時などの情報収集にお役立てください。】